

「論文作成」のための特別講座

練習問題 2

「暮らしやすい地域社会を作るために私が将来したいこと」について、あなたの考えを400字程度で書きなさい。

「論文作成」のための特別講座 練習問題2 解説

典型的な「論文型小論文」の「テーマ型」である。

「題意」は、「地域社会」と「自分の生き方」である。

必要な、論文内容は、次のような項目である。展開順は、違ってもよいが、筋道が通っていること(必ず、段落分けする)。

第1段 「社会的文脈」の「引用」

第2段 「問題提起」＋「判断」(結論)

第3段 「根拠」

第4段 まとめ(「判断」の反復or「提案」)

このような「テーマ型」の場合は、論じる方向と、範囲は、自分の知識に頼るしか方法がない。「地域社会」のどのような側面を取り上げるかで、内容は大きくかわる。「地域社会」のテーマで語られる典型的なものには、次のようなものが考えられる。

第1段の「社会的文脈」にふれるところで、自分が論じる内容を、限定しておく必要がある。

例えば、犯罪がなく安心で安全な「安全な地域社会」、都市機能が充実している「便利な地域社会」、経済的な活動で豊かに暮らせる「豊かな地域社会」、自然環境が活かされている「自然と共存する地域社会」など。

第2段の「問題提起」には、地域社会の現状で特に解決されなければならない問題点を指摘する。「判断」で、それに対する自分の主張・結論で「自分の果たす役割」を説明するといいい。

第3段の「根拠」に、最も多くのスペースを割き、自分の主張を裏付ける具体的な社会的事実を指摘することができれば、評価は高くなる。

ちなみに、住民の連帯感の喪失感や相互協力のなさが、今日の「地域社会」を論じる際の大きなポイントになっていることも忘れてはならないであろう。東北地震以来は「絆(きずな)」がキーワードになっている。

解決方法と実現可能な「課題」を提案できるような「テーマ」を選択するのが、得策である。プロットを作成する段階で、自分の書ける「テーマ」をしっかりと考えることと、自分の経験や知っていることで勝負すること。